

学校関係者評価(記述用)

領域等	No.	記述欄
教育目標	①	○教育目標「社会に貢献できる自立した人間の育成」は、生徒や地域の実態から適切である。具現化の評価は難しいが、具現化に向けた研修実践に努めて欲しい。
学習評価	②	○「わかりやすい授業」を目指して、授業の改善・工夫に努めることは、教師として当然である。 ○「わかりやすい授業」により、すべての生徒に意欲を持たせ、学力の定着や向上に努めて欲しい。 ○ワークシートの活用は学習効果が上がる場合も多いが、安易にプリントに頼ると生徒の主体的な学習の取り組みを阻害する場合がある。
	③	○教師と保護者の評価に開きがある。保護者の評価が低いのは期待の裏返しでもある。教師が生徒一人一人の学習状況を把握し、情報交換して共有化し、継続した指導が求められる。
道徳・人権	④	○思いやりの心を育てる道徳・人権教育の実践に対して評価が高く、今後もより一層の努力をお願いしたい。 ○生徒がいじめを感じることなく学校へ行くことに楽しみをもっていることは大いに評価できる。
ふるさと教育	⑤	○唱歌ふるさとへの取り組みは大変良い試みであると思います。 ○教師が高月中学校区の地域認識をしっかり捉え、心豊かで、郷土愛に満ちた人間の育成に、積極的に取り組んでほしい。
行事	⑥	○どの行事にも生徒は積極的に取り組み、保護者も深い理解を持っておられ一体感を感じられる。今後も一層の充実を期待する。 ○総合的な学習の時間とふるさと教育とを結びつける実践を期待する。
生徒指導	⑦	○昨年度よりも授業態度など改善されているが、昨年度の後遺症がヘルメット等に見え隠れしている。学校の決まりや社会のマナー、ルールしっかりと守れるよう、保護者と連携しつつ根気強く指導してほしい。
	⑧	○登下校時に「おはよう」「おかえり」と声をかけるとほとんどの生徒が返事をします。自分から明るい挨拶ができるようなキャンペーンを生徒会で展開してはどうですか
教育相談	⑨	○困難な事とも予想されるが、生徒一人ひとりとの話し合いや相談事等の聴き取りをさらに深めてほしい。同時に保護者との連携も大切であろう。 ○不登校生徒への対応をさらに深めてほしい。
特別活動	⑩	○学級や生徒会の活動は、学校生活の充実や向上を図る活動であると思う。先生の適切な指導と生徒の積極的な参加を期待する。 ○生徒会活動や学級活動の土台は、学習活動の充実であろう。そのためにも学習活動が一層充実されることを願う。
	⑪	○部活動は、指導が充実し活発であると思われる。今後もより一層の活躍を期待するものの、先生方の加重負担にならないよう、日程や時間の調整、外部指導者の導入等工夫し、先生方の負担を軽くしてほしい。
環境整備	⑫	○環境づくりや清掃指導に積極的に取り組んでいると思われる、今後も継続をお願いしたい。。
安全指導	⑬	○下校時での交通マナー(特に自転車)に少々問題がある。(道一杯に集団になっていることが多い)。自他の身を守るためにも交通ルール・交通マナーは大切であり、徹底した指導をお願いしたい。
保健安全	⑭	○保健安全に対して高い評価であり、今後も続けてほしい。
連携	⑮	○「学校だより」の地域回覧は続けてほしい。 ○学校・学年・学級通信等にて学校の様子を伝える情報発信に努めている。
	⑯	○授業参観は、学校の様子を知る一番の場だと思います。今後も、開かれた学校・信頼される学校づくりに努めていただきたい。 ○地域行事への参加や地域へ出向いてのボランティア活動などを推進してほしい。
家庭生活	⑰	○学校での学習を家庭学習につなげようと教師は努力されているが、保護者の評価は低い。連携が必要と思われる。 ○家庭生活(家庭学習)を学校が掌握し指導したりすることは難しいが、家庭学習を定着させるために、宿題の出し方等家庭学習のあり方を研究してほしい。
土曜授業	⑱	○学校が主体的に土曜授業を実施しているわけではないので、教師と生徒の評価が低いのは当然と考えられる。今後負担にならないよう工夫しての実施をお願いしたい。
その他		○「朝読書」「立腰タイム」今後も続けてください。
	⑲	○学校・教師は生徒の課題解決に向けて努力され、多忙の業務に追われていると思われる。保護者の考え方も多様化し、保護者との連携が大変になって来ていると思われる。また、教師の多忙のため、教師のメンタルケアも必要と思われる。 ○高月中は大変よくなったと言われるようになった。課題のある学年が卒業したから「よくなった」のか、教師集団・生徒会等の努力で「よくなった」のか検証しておく必要がある。